



上原 喜代子 議員

# 南風原町観光協会の 自立運営は可能か

答 観光協会と一緒に検討していく

**問** 観光協会の自立に向けた計画等はあるか。

**副町長** 本町が独自に策定した計画等はないが平成25年から平成29年までの5年事業収入計画を策定している。

**問** 平成27年度でケータリングも含めた純利益が101万7千円。その利益はどのように取り扱っているか。

**経済建設部長** 利益については次年度の繰越金としている。

**問** 現状で交付金の助成がなくても自立の可能性はあるか検証等はしているか。

**経済建設部長** 平成28年度観光協会の事業は、一括交付金の受託事業3400万円が主となっている。沖繩復興の一括交付金もすでに半分の折り返し地点にきている。どの方向性に行くか検討が必要と考える。

**問** 多数の事業化に伴い、県内外での観光協会の知名度もアップしていると理解する。事業展

開において、事業を興したいが財源がなかった例もあるか。

**産業振興課長** 公益的事業の主な部分ではかすりの道での体験、壕の体験などに重きを置いている。これまで一貫して新しく事業を立ちあげ資本金等を使う事業はなかったと考えている。

**問** 財源確保の安定化で観光協会が自由に発想し、もっと事業計画が展開できる仕組み作りが必要と思う。その為にも繰越金ではなく基金の考え方などを調査研究を行い長期展望がみられる方法を考えてほしいがどうか。

**産業振興課長** その点については今後観光協会と一緒に検討していきたい。

**地産地消で  
学校給食の充実を**

**問** 本町の農産物を学校給食で本町ならではの給食となるような次年度計画等はあるか。

**教育長** 本町の農産物を活用し

給食週間における郷土料理のほか季節、行事、食育等に併せたメニューを年間計画のなかで提供している。

**問** 農産物を旬の時期にストックし、農家の販路拡大となる手法は考えられないか。

**副町長** 本町も普及センターが主催する冷凍加工技術や商品開発までの支援を行っている。手法については調査研究をしていく。



給食の風景